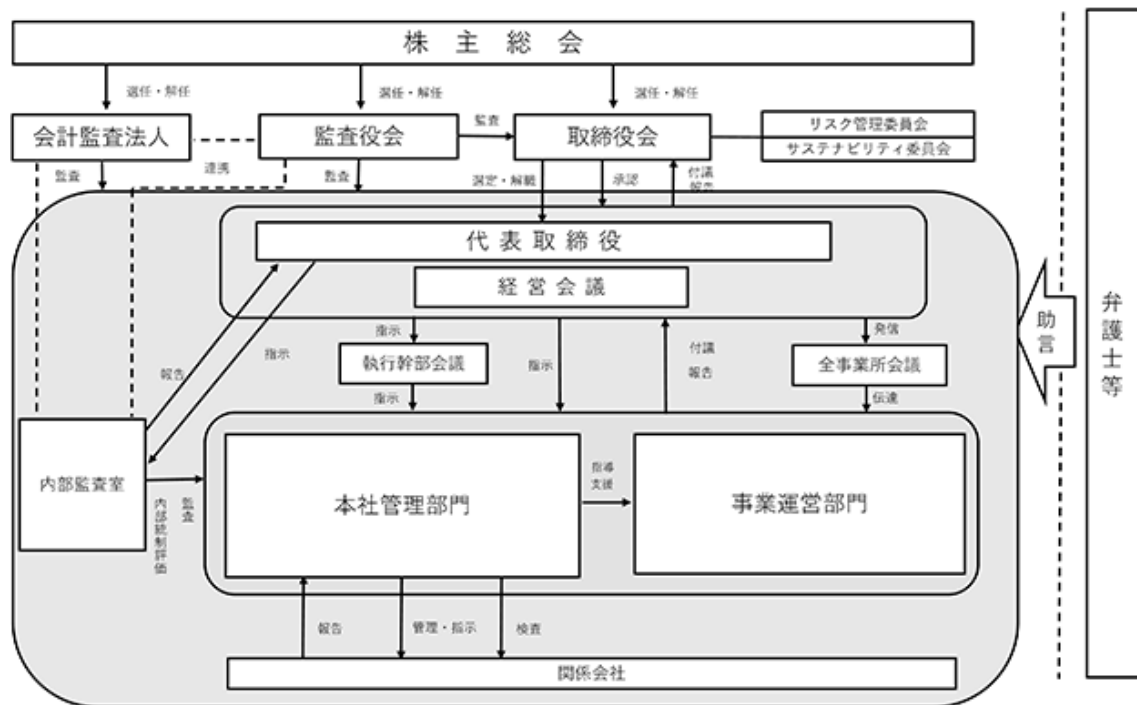


【コーポレート・ガバナンス体制の概要(模式図)】



## 適時開示体制概要書

当社の会社情報の適時開示に係る社内体制の状況は、下記のとおりです。

### 記

#### 1. 決定事実に関する情報

重要な決定事項については、四半期に1度、年度末及び株主総会後に開催される定時取締役会、並びに必要に応じて開催される臨時取締役会において決定されております。監査役は、これら取締役会および全社管理職会議などの重要な会議に出席し意見を述べるなど、業務執行面における監査等を積極的に行っております。これにより決定される重要事実、証券取引所の適時開示規則(以下「適時開示規則」という。)に従い、開示が必要か否かを統括本部長・管理部で検討し、開示が必要となる場合には迅速に行うよう努めております。さらに、必要に応じて会計監査人並びに証券取引所等による監査および助言・指導等を受けており、正確かつ公平な会社情報を開示することに努めております。

#### 2. 発生事実に関する情報

重要事実が発生した場合には、当該事実が発生したことを認識した部署(本社各部室、各事業所等)から速やかに情報開示担当役員に情報が集約されるとともに、取締役に対して報告がなされます。その後、適時開示規則に従い、当該情報の開示が必要か否かを専務取締役・管理部・経営企画室で検討し、開示が必要となる場合には迅速に行うよう努めております。また、必要に応じて会計監査人並びに証券取引所等による監査および助言・指導等を受けており、正確かつ公平な会社情報を開示することに努めております。

#### 3. 決算に関する情報

決算に関する情報については、経理部門において決算財務数値を作成し、並行して会計監査人による監査を受け、最終的な決算を取締役会において承認し、当日速やかに決算情報を開示しております。また、監査役は随時、期中の業務執行に対し目を配っており、会計監査人による監査も期末に偏ることなく充実した会計監査が行われております。これにより迅速、正確かつ公平な会計情報を開示することに努めております。

#### 4. 適時開示情報

適時開示を行った情報につきましては、その後遅滞なく自社のウェブサイト上に掲載し開示の徹底を図っております。

以上

【適時開示体制の概要(模式図)】

